

商工振興ビジョン後半期ロードマップに係る中間評価（案）について

資料2
第35回 振興会議（R5.1.11）

主要な5つの柱	KPIの達成状況	前回会議における意見概要
1 ・ 中 小 企 業 ・ 小 規 模 事 業 者 の 経 営 基 盤 強 化	<p>○市内事業所総売上額 ①9,597億円（H28） ↓ ②現時点で統計上の実績値が把握できないもの ↓ ③9,597億円（R6）</p> <p>※経済センサ調査結果の数値</p> <p>○創業者数 ①59件（H28～H30延べ） ↓ ②60件（R2～R3延べ） ↓ ③124件（R2～R5延べ）</p> <p>※創業支援等事業計画の数値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ロードマップ自体も策定から時間が経過していることやコロナ感染症により状況が大きく変わってきている。例えば、一つ目の柱でいうと14事業あり12事業が実施されているが、<u>今後、継続していく事業や或いは未実施となっている事業はとりあえず未実施のままにしておいて良いのではないか。</u> ●事業者へのアンケート結果を見ると、営業利益が前年と比較して増加していると答えられている事業者もいる。今般の原油価格等の高騰による影響を受けていない事業者もいるのではないか。<u>これらの影響を受けている業種や事業者に絞った施策を実施するべきでないか。</u> ●創業支援の取り組みについて、創業者の本気度にもよるがそれほど成果が出ていない。<u>創業支援も思い切った施策が必要である。</u> ●利子補給制度や助成制度の件数や補助額の実績がどれくらいであったのかではない。栗東市は手厚い創業支援を実施しているが、子育てをしている女性が創業塾を受講されても市内で創業をした人も少ないのではないか。<u>創業支援を受けた事業者が納税者になってもらうようすることが最終的な目的で、そこまでやるのは難しいと思うが本来はそうあるべきで、公費により支援をした事業者が廃業となつては意味がない。</u> ●滋賀県工業技術センターの利用促進と有効活用について、利用しようという企業自体にもニッチ世界であり、<u>実際には利用している企業も少ないのが実情である。</u>県全体としてもこのような状況の中、栗東市内の事業者にも利用してもらえるのか。<u>この結果が未実施となっているので、あれば良い施設だが需要はあまりなく、他にやりようがないのではないか。</u> ●事業者の経営安定化について、<u>事業を続けていきたいのに廃業せざるを得ない事業者には支援をするべきである。</u> ●未実施の事業があってもKPIは概ね達成されており、未実施のままで見送って、それよりも可能性があるところを手厚く実施した方が良い。

中間評価（案）
<p>KPIのうち創業者数は令和3年度において、概ね達成している状況であり、未実施の事業もあるが、順調に推移している。</p> <p>未実施の事業は市内事業者の需要を勘案すれば一旦休止扱いとし、引き続き市内事業者の事業継続と経営安定の取り組みや市内での創業ははじめとしたスタートアップへの支援を継続していくとともに、長引くコロナ禍や原油価格・物価高騰などにより厳しい状況にある事業者への支援の検討・実施が必要である。</p> <p>特に創業活動への支援については、KPIは年31件の目標値を概ね達成している状況であるが、数にとらわれることなく、創業をされた事業者が良き納税者になるという最終目的が果たされるよう、関係機関と連携したフォローアップ体制を整え支援を実施することが必要である。</p> <p>一方で、助成制度等について、計画と比して実績件数が少ない事業もあり、事業者からは手続き簡略化や情報提供も多く求めているという結果であることから、多くの事業者に活用いただけるよう、わかりやすい申請手順の整備や支援策の伝達方法の工夫、支援機関をはじめとした関係機関との連携が必要である。</p> <p>【事業進捗状況（R3年度末）】12事業/14事業：85.7%</p>

主要な5つの柱	商工振興ビジョン後半期ロードマップ主要な5つの柱と具体的施策					■商工振興ビジョン後半期ロードマップにおける指標（指標空欄箇所については今後の事業推進において指標数値を設定します。）			指標の達成状況（R4年11月末現在）									■後半期ロードマップの事業計画・実績値					
	具体的施策	区分	主な事業 事業名	実施 年度	進捗 状況	今後の 方向性	指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			
								計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	
1 ・ 中 小 企 業 ・ 小 規 模 事 業 者 の 経 営 基 盤 強 化	1 「栗東市中小企業・小規模事業者応援ガイドブック」	継続	■「栗東市中小企業・小規模事業者応援ガイドブック」の作成配布	3～5	実施	継続	掲載事業者数	—	—	—	50者	44者	△6	—	—	—	50者	—	—	—	—	—	—
	2 中小企業・小規模事業者のニーズに適した情報の発信	継続	■支援制度等の情報整理・発信	2～6	実施	継続	登録者数（商工会 小規模事業者等への支援施策周知事業）	—	—	—	130者	617者	487	617者	722者	105	655者	—	—	—	655者	—	—
		新規	■メルマガ制度の創設	3～6	実施	継続		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3 関係機関との連携によるサポート体制と相談体制による支援	継続	■サポート体制の継続	2～6	実施	継続	相談件数	24件	12件	△12	24件	19件	△5	24件	12件	△12	24件	—	—	—	24件	—	—
		継続	■りっとう経営なんでも相談会の実施	2～6	実施	継続		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4 産学官連携に向けた機会の創出	継続	■産学官の連携	4～5	未実施	休止		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		継続	■滋賀県工業技術総合センターの利用促進と有効活用	4～5	未実施	休止		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 事業継続強化支援計画の推進	新規	■事業継続強化支援計画の推進	2～6	実施	継続	事業継続強化支援計画策定支援数（商工会実施分）	1件	1件	0件	1件	0件	△1	1件	—	△1	1件	—	—	—	1件	—	—
	6 経営基盤の強化と資金の支援	継続	■信用保証料助成制度	2～6	実施	継続	栗東市中小企業信用保証料助成件数 滋賀県制度融資分 市小口簡易資金分	25件	5件	△20	20件	17件	△3	9件	8件	△1	9件	—	—	—	9件	—	—
継続		■国持続化補助金の市単独上乗せ	2～6	実施	継続	上乗せ件数（一般型）		10件	0件	△10	10件	0件	△10	10件	0件	△10	10件	—	—	—	10件	—	—
7 創業活動への支援	継続	■りっとう創業塾の実施	2～6	実施	継続	創業者数 ※創業支援等事業計画目標値（令和5年まで）	31人	27人	△4	31人	33人	2	31人	14人	△17	31人	—	—	—	—	—	—	
	継続	■創業支援融資利子補給金制度の継続	2～6	実施	継続		市補給件数（1月申請受付）	22件	31件	9	31件	31件	0	31件	—	△31	31件	—	—	—	31件	—	—
8 創業支援等事業計画の推進	継続	■栗東市創業支援等事業計画の推進	2～6	実施	継続	創業者数 ※創業支援等事業計画目標値（令和5年まで）	31人	27人	△4	31人	33人	2	31人	14人	△17	31人	—	—	—	—	—	—	
9 経営発達支援計画の作成・推進	新規	■経営発達支援計画の作成・推進	3～6	実施	継続	目標達成項目数（商工会実施分）	21件	11件	△10	24件	19件	△5	24件	—	△24	24件	—	—	—	24件	—	—	

主要な5つの柱	KPIの達成状況	前回会議における意見概要
2 ・ 消費者ニーズの創出	<p>○市民の市内購買率</p> <p>①35.7% (R1)</p> <p>↓</p> <p>②46.7% (R4)</p> <p>↓</p> <p>③35.7%(R6)</p> <p>※市民アンケート調査結果の数値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 大型商業施設が出店すると市内の個店事業者は反対するが、消費者は他市に行っていたのが近くなって便利になるので賛成するであろうが、それは他市にやってもらって市外から来てもらえるような栗東市は栗東らしさを出したものを考えるべきである。 ● 消費者と生産者の両方の視点から見ていると、まちの賑わい創出が必要である。コロナ禍になって栗東市内にもこういうお店があるということを聞かれて私の店に来店されるお客様の声をよく聞くようになった。この目線が内向きになってきている現状を強みにして、2つ目の柱の消費者のニーズ創出と3つ目の柱を合わせて考えていくのが、アフターコロナにベストではないか。 ● 賑わいの創出には行政や企業だけでできるものでなく、市民の協力が必要である。栗東駅前も当時の住民と色々相談と検討をした結果として今ようになっており、市民の考えによるものもあったことだと思う。地区計画によることが難しいところもある。 ● パル事業についても、参加店が増えて良かったではなく、参加店が減っていても新規来店客が増えて売り上げが増加して経営状況が良かったというところまでなっていない。
3 ・ まちの賑わい創出	<p>○空きテナント数</p> <p>◆栗東駅周辺</p> <p>①31件(R1)</p> <p>↓</p> <p>②27件 (R4)</p> <p>↓</p> <p>③26件(R6)</p> <p>◆手原・安養寺周辺</p> <p>①73件(R1)</p> <p>↓</p> <p>②67件 (R4)</p> <p>↓</p> <p>③62件(R6)</p> <p>※空きテナント実態調査結果の数値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 栗東市には栗東駅周辺と市役所周辺が中心市街地であるが、その地域では地区計画による制限があり商業は発展しない。ここは賑わいが創出できる地域にしないといけない。 ● まちのにぎわいの創出が重要ではないか。商工会と連携してやっていただくのが一番良い。国の施策への上乗せには力を入れなくても良い。このまちがどうしたら賑わうのかを考えると、人口が増えているがまちが賑やかになった感じはしない、空き家の増加と人口増加が連動しているという不思議な状況である。栗東駅も静かすぎて、街のデザインを再構築できるような施策も必要である。 ● 空き店舗等対策について、栗東市に住んでいる方は栗東には何も無いという気持ちをもっていることが多いイメージをしている。どうして栗東市で開店するのかとも言われたが、私たちの外からみると本当に魅力のある街だと思う。空き店舗の制度をはじめ、市内に新しい事業者に出店してもらうには、滋賀県や関西域にもこのような制度があると発信するのも必要なのではないか。

中間評価（案）
<p>KPIについて、令和4年7月に実施された「市民の消費ニーズに係るアンケート」の調査結果から、中間期において計画値を大きく上回る状況が確認できる一方で、計画された事業については未実施率が実施を上回る状況になっている。</p> <p>同アンケートの実施時期が、プレミアム付商品券事業の実施期間中であった事情等を勘案すると、市内購買率の上昇は商品券事業の影響を色濃く反映しているとも考えられ、商品券事業の「市内購買率」や「賑わい創出」に対する事業効果の大きさの確認と併せて、今回確認された数値が今後も同様の水準で推移するのか注視していく必要がある。</p> <p>なお、市外からの誘客も念頭に、コロナ禍を受けた消費行動や意識の変化を踏まえて、市民や事業者の意見を聞きながら、個店の魅力情報発信などの具体化を図っていく必要がある。</p> <p>また、域内調達拡大については、企業、事業者、市民、行政それぞれが協働により取り組むものとしているが、課題を解決するために時間を要することから、長期的な視点で進めていく必要がある。</p> <p>【事業進捗状況（R3年度末）】2事業/7事業：28.6%</p>
<p>KPIについて、一部下回っている状況であるが事業の進捗も概ね実施できている。</p> <p>個店の魅力向上については、一過性のものではなく、実際に新規来店客の獲得に繋がるように、商工会と連携したまちの賑わい創出と地域経済の活性化のための工夫をして進めていく必要がある。</p> <p>空き店舗等対策については、新規出店者の経営安定化に繋がる店舗の魅力発信PRへの支援が必要である。また、市内空き店舗への新規出店を促進するために、他の創業者向け市支援策と併せて、市内外への関係者等を通じた強力な制度周知を行っていく必要がある。</p> <p>【事業進捗状況（R3年度末）】3事業/4事業：75%</p>

主要な5つの柱	工商振興ビジョン後半期ロードマップ主要な5つの柱と具体的施策						指標の達成状況（R4年11月末現在）																		
	具体的施策	主な事業		実施年度	進捗状況	今後の方向性	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度						
		区分	事業名				計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較				
2 ・ 消費者ニーズの創出	10	市の全調達に占める調達比率の引上げ	継続	市の全調達に占める調達比率の引上げ	2~6	実施	継続	庁舎内での市内調達率	76.6%	74.9%	-1.7%	80.1%	76.30%	-3.8%	83.6%				87.1%			90.6%			
	11	域内調達拡大運動	継続	域内調達拡大運動に関する周知	2~6	実施	継続																		
			新規	地域経済の循環率を高める施策等の検討実施	4~6	未実施	継続																		
			新規	地元事業者活用促進策の検討	4~6	未実施	継続																		
	12	市民が買物をしやすい環境整備の検討	新規	市民が安心して購買・利用できるための情報発信支援事業	4~6	未実施	継続		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	魅力ある個店づくりへの情報発信支援	新規	個店の魅力情報発信支援	4~6	未実施	継続																			
14	農商工連携による市内産品の販売促進	新規	市内小売業者への働きかけ	4~6	未実施	継続																			
3 ・ まちの賑わい創出	15	個店の魅力向上	継続	りっとうバル・まちゼミ事業	2~6	実施	継続	りっとうバル参加事業者数	52店	りっとうバル開催中止	-	52店	りっとうバル開催中止	-	52店	74件	22	52店				52店			
			継続	商店街等の活性化	2~6	実施	継続																		
	16	空き店舗等対策の拡充	継続	空き店舗等活用促進事業補助金制度	2~6	実施	継続	市補助件数（うち、新規申請分）	9件	8件（5件）	△1	9件	8件（4件）	△1	9件	10件（6件）	1	9件				9件			
新規			空き店舗のデータベース化と情報提供	4~6	未実施	継続																			

主要な5つの柱	KPIの達成状況	前回会議における意見概要
4 ・ 人材確保と生産性向上	○就業者数 ①31,844人(H28) ↓ ②33,944人(R3) ↓ ③31,844人(R6) ※経済センサ調査結果の数値	<ul style="list-style-type: none"> ● 栗東市中小企業・小規模事業者応援ガイドブックや市内企業魅力情報発信冊子について、<u>作成することが目的となり、これを作成した前後で市内企業に就職された人数が飛躍的に増えて市内企業の就職率が上昇しているのか。</u> ● 栗東市の方を採用したくて地元の高校に毎年採用案内を送ったり配布したりしても、<u>実際には応募も少なく、近年は採用を抑えていたことから、高校との繋がりが薄くなっていることもあり集まらない。</u> ● 人材不足は日本全体の雇用の部分が安定しないのが大きな問題となっている。<u>栗東市内にある学校を卒業して市内にある企業に就職するルートを整備する必要がある。</u>雇用を受け入れた企業に税制優遇をするなど、<u>栗東市が全国に注目されるような特徴的な取り組みが必要ではないか。</u> ● <u>事業承継についても、全国的には大きな課題であるが、特殊な内容の領域となるので、行政だけの支援では難しく進まないが、中途半端な施策ではしっかりとした成果が出難い。</u>
5 ・ 新型コロナウイルス感染症の発生による地域経済に	○市内事業所立地数 ①2,838件(H28) ↓ ②2,774件(R3) ↓ ③2,838件(R6) ※経済センサ調査結果の数値	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体的として、<u>事業が多すぎるのではないか。</u>新型コロナウイルス感染症の緊急支援策を実施しているが、<u>資金支援や国補助金の上乗せは、今後は国や金融機関にやってもらうほうが良いのではないか。</u> ● <u>コロナ関係の資金融資制度は国と県が実施しており、そこに注力するならば、賑わいの創出に力を入れるべきでないか。</u> ● <u>コロナ関係の支援策はここから2年か3年間は良いが目だけのものである。</u>今後10年か20年を見据えて考えたときに続けられるのか。 ● <u>プレミアム付商品券事業について、お得感があるので直ぐに売れて今は経済効果があると思うが、3年後を考えると効果があるのかどうか。</u> ● 栗東市には観光資源が多くあるが、それに費やすエネルギーがあるのであれば継続中となっている事業もコロナ禍を踏まえて入替をして、<u>新しいコロナの時代にあったものを入れて精査するべきでないか。</u> ● KPIについて、<u>事業所立地数でなく倒産した企業数や市内から流出した企業数などの指標にするべき。</u>

中間評価(案)
<p>KPIについて、計画値を大きく上回る状況となっており、事業の進捗状況も半数の事業が実施となっている。</p> <p>市内企業の人材確保については、事業者アンケートの結果などから重大な課題と認識されており、ニーズも高いことから、デジタル化への支援による生産性の向上の取り組みと併せて、市内企業の人材確保に繋がる支援策の継続した取り組みが必要である。</p> <p>また、事業承継の支援については、全国と比較して市内では若い年代の経営者が多い状況であるものの、切実な課題としてその対処が求められる時期はいずれ訪れることが予測されることから、長期的な視点で国の動向や社会情勢、市内事業者の状況を注視していく必要がある。</p> <p>【事業進捗状況(R3年度末)】4事業/8事業：50% 【経営者の年代(平均)】栗東市 51.8歳(R4事業者アンケート調査) 全 国 61.5歳(2021年企業信用調査機関調査)</p>
<p>コロナ禍をはじめとする厳しい経営環境下において、市内事業者の事業継続のために、各種事業を実施してきたが、KPIの中間値においても市内事業所の立地数減少している状況であり、引き続き対応が必要である。</p> <p>ただし、エネルギー価格・物価高騰、金融政策など、国や県、市のそれぞれの立場で果たすべき役割という観点から実施事業を仕分ける必要がある。</p> <p>今後は、国や県が実施している事業については、市独自の支援は一旦終了とする。</p> <p>また、地域の実情を踏まえた地域経済の活性化への取り組みに関しては、プレミアム付商品券事業の効果は2点目の柱でも確認されているところであり、市民の消費生活にも寄与する側面も含めて、その効果等を十分検証した上で、国や県施策の動向を踏まえて、今後の実施について、まちの賑わい創出に向けた取り組みと併せて検討していく必要がある。</p> <p>【事業進捗状況(R3年度末)】4事業/4事業：100%</p>

主要な5つの柱	商工振興ビジョン後半期ロードマップ主要な5つの柱と具体的施策						指標の達成状況(R4年11月末現在)																
	具体的施策	区分	主な事業 事業名	実施年度	進捗状況	今後の方向性	指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			
								計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	
4 ・ 人材確保と生産性向上	17 市内企業の人材確保支援	継続	■ 市内企業の魅力情報発信	2~4	実施	継続	掲載事業者数	50者	47者	△ 3	80者	77者	△ 3	80者	83者	3	—	—	—	—	—	—	
	18 中小企業・小規模事業者の生産性向上	継続	■ 中小企業者等の先端設備投資への支援の継続	2~6	実施	継続	市認定件数	130件	18件	△ 112	20件	18件	△ 2	20件	11件	△ 9	20件			20件			
		新規	■ キャッシュレス決済端末導入への支援	4~5	未実施	継続																	
	19 関係機関との連携によるサポート体制と相談体制の構築	新規	■ サポート体制の構築	2~6	実施	継続	事業承継相談件数 ※りっとう経営なんでも相談会における事業承継に関する件数	4件	1件	△ 3	4件	2件	△ 2	4件	0件	△ 4	4件				4件		
新規		■ 事業承継相談会の開催	2~6	実施	継続																		
20 事業承継への新たな支援制度の検討	新規	■ 事業承継融資信用保証料助成制度	4~6	未実施	継続		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	新規	■ 事業承継融資利子補給制度	4~6	未実施	継続																		
	新規	■ 国事業承継補助金の市単独上乗せ	4~6	未実施	継続																		
5 ・ 新型コロナウイルス感染症の発生による地域経済の活性化	21 中小企業・小規模事業者の経営の継続と安定化への支援	新規	■ 栗東市セーフティネット資金利子補給金制度	2~4	実施	終了	市補給件数(1月、2月申請受付)	195件	180件	△ 15	180件	168件	△ 12	180件		△ 180	180件				—	—	—
		新規	■ 国持続化補助金(コロナ特別対応型)の市単独上乗せ	2~4	実施	終了	上乗せ件数(R03コロナ特別対応型)(R04低感染リスク型ビジネス枠)	13件	0件	△ 13	30件	41件	11	8件	2件	△ 6	—	—	—	—	—	—	—
		新規	■ 国・県等補助施策への市独自上乗せ	3~6	実施	終了	栗東市事業継続応援支援金件数(県支援金<第3期>上乗せ)	—	—	—	600件	385件	△ 215	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 地域経済の再活性化に向けたさらなる支援	新規	■ 市内消費喚起促進への支援	2~4	実施	継続	商品券取扱店舗数(令和2年度は、りっとう元氣アップ応援券取扱店舗数)	500店	499店	△ 1	300店	316店	16	300店	303店	3	—	—	—	—	—	—	—	—